

省エネルギーの取り組み



限りある資源を有効活用するために、ヤマナカでは省エネルギー活動に積極的に取り組んできました。

◆設備面での省エネ

冷蔵・冷凍機器設備の更新

店舗全体の電気使用量の約6割を占める冷蔵・冷凍機設備を、改装店を中心に順次更新し、冷却効率を高めて電気使用量の削減に努めています。更新された設備はコンプレッサーのインバーター制御、省エネタイプのファンモーター装備、棚下照明のLED化などにより、従来品と比較して大幅に消費電力を削減することができます。



店舗照明のLED化

店舗天井照明を、従来型の照明機器からより長寿命・高効率なLED照明へと交換しています。また、天井照明だけでなく、冷蔵オープンケースの棚下照明のLED化も同時に進めています。



冷却効率の良い冷凍ショーケースの導入

外気の影響を受けにくい、扉付きの内蔵ショーケースを導入することにより、消費電力の軽減を図っています。



社有車をエコカーに

2014年より、業務使用車のエコカーへの変更を順次行っています。2018年3月現在までに、合計64台のエコカーを導入しました。



◆配送による省エネ

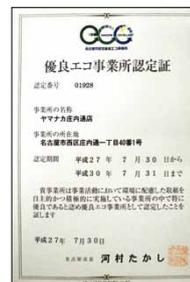
店舗に納品される商品は、まず取引先様から東海市にある物流センターへ集められ、仕分けされた後に各個店ごとに配送されます。商品や作業を1カ所に集約することにより、配送効率の向上や運行車両台数の集約、運行距離の短縮に努めています。また、センターからの商品配送の際には繰り返し利用できる専用の通箱を使用し、ダンボール使用量の削減にも取り組んでいます。



行政からの認定

ヤマナカでは、2012年に「あいちCO₂削減マニフェスト2020」に環境保全に対する取り組みを宣言して以降、宣言内容に沿って地道に取り組んできました。2015年度にはその取り組み実績が認められ、トリプルスターに認定されました。トリプルスターは愛知県内でも23社（2018年6月時点）しか認定されていない、あいちCO₂削減マニフェスト2020の最高ランクです。

また、ヤマナカの名古屋市内の全店舗は名古屋市より優良エコ事業所の認定を受けています。





◆従業員による省エネ

デマンドコントロール

店舗での電気使用量はリアルタイムで監視され、使用量が目標上限デマンド値を超える場合には、各従業員があらかじめ決めておいた電気機器や照明の電源を落とすなどの節電対策を実施します。また、日常的に無駄な電気を使わないよう教育を実施しています。



ナイトカバーの使用

閉店後、冷蔵および冷凍のオープンケースにはナイトカバーの使用を徹底しています。冷気が漏れることによる品質の低下や使用電力の増加を防いでいます。



ロードラインの遵守

冷蔵・冷凍ケースに商品を過剰に積むと、冷蔵・冷凍効率が下がり電気の無駄遣いにつながります。適正な陳列量を守ることで、効率的な温度管理を図っています。



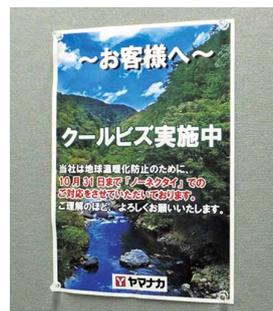
ライトダウン、クール・ウォームシェアスポット活動への参加

ヤマナカでは行政の呼びかけで実施されている取り組みに参加し、お客様とともに環境活動を実施しています。

ライトダウンキャンペーンにおきましては、夏至の日と七夕の日に独立広告塔の消灯を行いました。また、豊橋市の一部店舗ではお客様がご家庭でエアコンを使用される代わりに店舗で快適に過ごせるよう、クールシェアスポットおよびウォームシェアスポットの提供を続けています。またヤマナカでは5月1日より10月31日をクールビズ実施期間とし、ノーネクタイで業務を実施しています。



ライトダウンの実施



クールビズの実施

紙使用量の削減

印刷にかかるコストが一目でわかるようポスターを作成し、コピー機の近くに掲示することで、コストに対する意識を向上しています。また毎月の印刷代を集計して増減を検証したり、本社においてはコピー用紙の持出し数量を部署ごとに記録することで、削減活動をより効果的なものになるよう、努めています。

